

科目名：微生物学〈含、免疫学〉 (Microbiology and Immunology) 履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：講義 担当教員：浜田信城、倉橋絢子（実務経験有）		必 2 単位
学修目的	口腔の常在微生物とそれらが原因となる疾患を理解するために、微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫に関する基本的知識を習得する。 DP 1-(1)、2-(1)、2-(2)およびCP 2、3、4 に関連する。科目No.S1B06H16	
到達目標	1. 感染と発症を説明できる。 2. 微生物の感染機構と病原性を概説できる。 3. 宿主の抵抗性と感染の種類と経路を概説できる。 4. 細菌、ウイルスその他微生物の形態学的特徴と基本的性状を概説できる（プリオンを含む）。 5. 滅菌・消毒の意義と原理を説明できる。 6. 院内感染の原因と予防法を説明できる。 7. 化学療法の目的と原理を説明できる。 8. 微生物の培養と観察法を概説できる。 9. 自然免疫と獲得免疫を説明できる。 10. 液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 11. 免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 12. 抗原、抗体およびサイトカインを説明できる。 13. 免疫反応を利用した検査法を概説できる。 14. ワクチンを説明できる。 15. アレルギーを概説できる。 16. 微生物と口腔環境の関わりとを説明できる。 17. 口腔常在微生物を概説できる。 18. デンタルプラーク（バイオフィルムとして）の形成とその微生物叢を概説できる。 19. う蝕原因菌と歯周病原菌を概説できる。 20. 微生物が原因で口腔に症状を現す疾患を概説できる。	
授業概要	講義：教科書に沿って、微生物の性質、生態を含め病原微生物学総論を学ぶ。さらに感染と発病の関係や感染防御のための免疫・感染予防・感染の検査方法、治療に関する基礎知識について学ぶ。	
評価方法	期末試験（多肢選択問題）の成績により評価する（100%）。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。	
予習・ 復習時間	【予習】2時間 【復習】2時間	
教科書	最新歯科衛生士教本「疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学」医歯薬出版	
参考書	新歯科衛生士教本「微生物学」第2版 医歯薬出版	
ガイダンス 連絡先	17:00～19:00 浜田信城：第2研究棟6階 微生物学研究室 hamada@kdu.ac.jp 不在時はメールをお願いします。 倉橋絢子：第2研究棟6階 微生物学研究室 kurahashi@kdu.ac.jp 不在時はメールをお願いします。	